

<取組状況のまとめ>

- 平成 25 年度に策定した財政健全化計画では、「持続可能な財政構造の確立」に向け、県税収入の確保や未利用県有地の売却などの歳入の確保策、人件費の抑制・適正化や徹底した事務事業の見直しなどの歳出の抑制策について、全庁をあげて取り組んできました。
- この結果、
 - ・ 建設地方債等の実質的な県債残高については、毎年度、着実に減少していること
 - ・ 健全化判断比率については、常に全国平均よりも良好な水準を維持していること
 - ・ 財政調整基金については、平成 26 年度から 28 年度まで 3 年連続で、目標である残高 300 億円を上回ったこと
 により、計画に掲げた 3 つの基本目標について、一定の成果をあげることができました。
- また、平成 28 年度までの決算を踏まえ、各取組事項について検証したところ、以下のとおり、おおむね確保目標額を上回ることができ、各年度とも黒字決算を維持することができました。

1 計画の目指す方向（基本目標）

計 画	取組状況
<p>◎建設地方債等の実質的な県債残高の抑制</p> <p>臨時財政対策債を除いた建設地方債等について、将来の負担軽減のため、積立金を除いた「実質的な県債残高」を抑制します。</p>	<p>県債残高全体としては増加していますが、県の努力で抑制可能な建設地方債等の実質的な県債残高は、平成 24 年度末の 1 兆 6,299 億円から平成 28 年度末には 1 兆 4,290 億円と 4 年間で 2,009 億円減少しました。</p>
<p>◎健全化判断比率に留意した財政運営</p> <p>「実質公債費比率」及び「将来負担比率」については、全国水準を下回る水準で推移していますが、今後もこれらの指標に留意した財政運営に努める必要があります。</p> <p style="text-align: center;">〔早期健全化基準：実質公債費比率 25.0% 将来負担比率 400.0%〕</p>	<p>「実質公債費比率」、「将来負担比率」については、いずれの年も早期健全化基準を下回り、また、全国平均よりも良好な水準を維持しています。</p> <p>実質公債費比率：㉕ 11.3% ㉖ 11.2% ㉗ 10.9% ㉘ 10.4% 将来負担比率：㉕ 179.3% ㉖ 164.6% ㉗ 155.7% ㉘ 154.2%</p>
<p>◎財政調整基金の更なる造成</p> <p>予算編成において収支均衡を図り、予算執行段階の節減などにより決算段階で黒字化し、決算剰余金の 1/2 以上を積み立てます。</p> <p style="text-align: center;">〔財政調整基金の残高の目標 300 億円 (標準財政規模の 3%程度)〕</p>	<p>決算剰余金の 1/2 を着実に積み立てるなどした結果、28 年度末の基金残高は約 470 億円となりました。</p>

2 取組事項 ①自主財源の確保

計 画	取組状況
<p>◎県税収入の確保（確保目標額 188 億円）</p> <p>○徴収対策の充実・強化</p> <p>厳正な滞納整理を実施するなど、徴収対策の充実・強化を図ることによって、主要税目の収入歩合について、全国平均を目指し、県税収入の確保を図ります。</p> <p>○超過課税の活用</p> <p>法人県民税法人税割の超過課税を引き続き実施します。</p>	<p>◎県税収入の確保（確保済額 310 億円）</p> <p>徴収対策の充実・強化を図ってきた結果、個人県民税や自動車税などの収入歩合を上げることにより、4 年間で 183.8 億円の収入を確保しました。</p> <p>法人県民税法人税割の超過課税の実施により、4 年間で 126.6 億円に収入を確保しました。</p>
<p>◎資産マネジメントの推進（確保目標額 40 億円）</p> <p>○未利用県有地等の処分の推進</p> <p>廃止した職員住宅等の未利用県有地などの売却等による処分を推進します。</p> <p>○未利用県有地等の有効活用や施設の廃止等の見直し</p> <p>処分困難な未利用県有地等について、暫定的な賃貸などの有効活用を検討します。</p> <p>また、職員住宅などの更なる廃止等により、未利用県有地の売却につなげます。</p>	<p>◎資産マネジメントの推進（確保済額 58 億円）</p> <p>旧職員住宅用地などの未利用県有地の売却に積極的に取り組んだ結果、4 年間で 58.2 億円の収入を確保しました。</p> <p>処分対象県有地等の暫定的な貸付などにより、4 年間で 1,276 万円の収入を確保しました。</p> <p>また、4 年間で職員住宅・教職員住宅など 21 棟を廃止し、跡地の売却につなげました。</p>

◎その他の自主財源の確保（確保目標額 12 億円）	◎その他の自主財源の確保（確保済額 17 億円）
○使用料手数料の見直し 毎年度の予算編成過程において、他団体との比較や適正な受益者負担の観点から、コストに見合った適正な負担水準とするため、使用料・手数料を見直します。	受益者負担の適正化や消費税率の引上げに伴う適正な負担の転嫁を図る観点から、使用料・手数料の見直しを行い、9,000 万円の増収効果がありました。
○県有資産を活用した収入確保 県有資産を活用した収入確保策に全庁的に取り組みます。 (例) 県有施設内の自動販売機の公募による設置 ホームページのバナー広告掲載や県民だよりの広告掲載	県有施設内の自動販売機の公募による設置やホームページのバナー広告掲載など、県有資産を活用した収入確保策に取り組み、4 年間で 11.0 億円の収入を確保しました。
○基金の効率的な運用による収入の確保 県債管理基金などの基金において、安全性の確保を最優先しつつ、利率の高い債券を購入するなど資金の効率的な運用を図り、さらなる運用益の確保を図ります。	県債管理基金などの基金において、安全性の確保を最優先しつつ、利率の高い債券を購入するなど運用益の向上に努め、4 年間で約 5.4 億円の増収効果がありました。

2 取組事項 ②新たなニーズに対応した歳出の見直し

計 画	取組状況
◎人件費の抑制・適正化（確保目標額 720 億円）	◎人件費の抑制・適正化（確保済額 727 億円）
○給与費の適正化 職員の給与については、民間給与水準並びに国及び他団体の状況等を踏まえ、引き続き給与水準の適正化を進めていきます。	給与費の適正化については、これまでの給与構造改革等の成果を継続することに加え、退職手当については、平成 26 年度までに支給水準を段階的に 17% 引下げました。 また、平成 25 年度には、緊急的な特例措置として、国の要請による給与減額を実施し、平成 27 年度からは、給与制度の総合的見直しを実施しています。 これらの取組等により、4 年間で 727 億円の歳出を抑制しました。
◎徹底した事務事業の見直し（確保目標額 100 億円）	◎徹底した事務事業の見直し（確保済額 123 億円）
○補助金等の見直し ○事業内容の精査による経費の節減等 事業の必要性・事業手法の妥当性や、繰越事業の精査など年間業務量の平準化の観点等から、徹底した見直しに取り組んでいきます。	毎年度の予算編成過程において、事務事業の見直しを行い、平成 28 年度当初予算編成までの 4 年間で 123 億円（一般財源ベース）の歳出を抑制しました。

2 取組事項 ③自立した財政構造への転換

計 画	取組状況
◎地方交付税を含めた地方税財源の充実 地方税や地方交付税などの一般財源の総額を確保するよう要望していきます。 また、地方交付税率の引上げにより、地方交付税そのものを確保し、臨時財政対策債を廃止するよう要望していきます。	地方税や地方交付税などの一般財源の総額を確保すること、また、地方交付税率を引上げ、臨時財政対策債は廃止することなどについて、全国知事会や九都県市首脳会議などの場を通じ、国に要望を行いました。
◎国庫補助負担金の改革（超過負担の解消） 現行の国庫支出金に係る超過負担は、地方の財政運営に大きく影響を与えることから早急に改善するよう求めていきます。	全国知事会等の場を通じ、継続的に国に要望をしてきた結果、平成 26 年度の制度改正によって難病医療費の助成制度に係る国の負担が法律で義務付けられるなど、一定の成果が表れています。
◎直轄事業負担金制度の改革 国と地方の役割分担等の見直しや地方への県減と財源の一体的な移譲など、制度の改革に向けた取組を進めるよう国に対して求めていきます。	社会資本整備の着実な実施にも配慮しつつ、制度の改革に向けた取組を進めるよう、関東地方知事会や九都県市首脳会議等の場を通じ国に要望を行いました。

3 計画期間中の財源確保額

1. 歳出の見直し額

(単位：億円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	計
歳出					
人件費の抑制	291	124	147	165	727
徹底した事務事業の見直し	27	40	32	24	123
歳出合計 ①	318	164	179	189	850

2. 歳入の確保額

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	計
歳入					
県税収入の確保	53	71	86	100	310
資産マネジメントの推進	10	21	14	13	58
その他の自主財源の確保	4	5	5	3	17
歳入合計 ②	67	97	105	116	385

財源確保額③=①+②	385	261	284	305	1,235
------------	-----	-----	-----	-----	-------